

した大事な予算であることを踏まえ、コンプライアンスの推進にも努めてまいりたいと考えております。これらの状況から、市民目線の改革である行財政改革プラン2020および次世代に責任を果たす公共施設マネジメントを踏まえ、限られた行政経営資源を最適に配分し、将来像である「みどりが萌える・子どもが育つ・きずなを結ぶ 小金井市」に向かって着実に歩むための予算として、10月1日に予定されている消費税率の改定も考慮し、編成してきたところであります。この結果、平成31年度予算は、一般会計48億2千500万円、前年度対比0・5%の減、4つの特別会計を合わせた全会計では67億186万8千円で、前年度対比0・1%の減となりました。

【市政運営の基本政策】

■子育て環境日本一の小金井

元氣な子どもたちの笑顔があふれるまちであり続けるためには、若い世代が安心して結婚・出産・子育てができるような切れ目ない支援や環境の整備が必要です。待機児童の解消につきましては、新規施設の開園などにより、285人の定員拡充を予定し、平成27年度と比べると千人を超える定員増を実現する見込みとなります。また、病児・病後児保育事業の準備を進めてまいります。保育の質のガイドラインを検討するとともに、今後の保育施策として取り組むべき方向性を示すため、保育計画を策定してまいります。加えて、民間の保育園で勤務される保育士のため

に、引き続き処遇の改善等に取り組みほか、私立幼稚園に対する補助金を見直します。子育て・子育て環境の充実については、子ども食堂の運営団体に対する経費の一部補助を新たに行うとともに義務教育就学児の医療費助成の所得制限廃止について周知を図ってまいります。また、子どもの権利に関する条例10周年記念行事「じどうかんフェスティバル(仮称)」を開催するなど条例のさらなる周知等に取り組みます。児童保育につきましては、平成32(2020)年4月開所をめざし、第三小学校内に(仮称)あかね第4・第5学童保育所の建設を進めます。また、放課後子ども教室の充実など、放課後の子どもたちの安全・安心な居場所づくりに取り組めます。平成31年度は、新学習指導要領への移行期間であること踏まえ、「主体的・対話的で深い学び」を実現する教育施策の充実を進めたいと考えております。小学校における外国語教育のさらなる充実、特別支援教育の拡充に加え、校内ICT環境の再整備やいじめ防止条例の制定に向けた準備を進め、不登校対策にも全力で取り組んでまいります。さらに、学校施設につきましては、トイレ改修や特別教室へのエアコン設置を進めるほか、屋上防水改修工事、給食室の改修を行います。また、試験的に体育館にエアコンを設置し、導入効果の検証を行ってまいります。

■健康・幸福・長寿(※1)・やさしさ(※2)の小金井

福祉と健康につきましては、すべての市民が住み慣れた地域で互いに支え合い、助け合いながら、安全・安心な生活を送れる地域づくりをめざし、第2期保健福祉総合計画の推進に努めているところです。外部の評価機関を新たに設置し、各分野の取り組みを進めてまいります。地域包括ケアシステムの深化・推進を図るべく、介護予防・重度化防止、地域で自立して暮らしている仕組みづくり、地域で支え合う仕組みづくりを取り組むとともに、介護職員初任者研修を実施します。また、介護事業者の職員宿舍借上げを支援することで、介護人材の確保と定着を図ってまいります。

障がいのある無にかかわらず、相互に人格と個性を尊重し合いながら、共に手を取り合い安心して暮らすことのできる社会の実現に寄与することを目的として、障がいのある人もない人も共に学び共に生きる社会を目指す小金井市条例を施行しました。全庁的な職員の理解促進を図りながら、手話を始めとした多言語に対応できるポータル端末を活用します。また、児童発達支援センター「きらり」において、巡回相談を市内の保育施設等にも拡大するなど、引き続き、障がい者福祉施策の充実、障がいの理解促進に取り組んでまいります。また、誰もが「生きる」ことの包括的な支援」として必要な支援を受けられるよう、いのち

を支える自殺対策計画(仮称)の策定を進めてまいります。健康・医療に関する施策につきましては、医師会、歯科医師会、薬剤師会などの関連団体と連携し、取り組みを進めてまいります。※1 健康・幸福・長寿 人々がいつまでも健康で生きがいを感じ、安全・安心で豊かな生活を送ること ※2 ささや愛 思いやりをもって互いに互いを支えていくこと

■歩いて楽しいにぎわうまち 小金井

商工会、商店会、観光まちおこし協会等と連携し、シティプロモーションや新たなにぎわいの創出など、交流人口の増加に向けた取り組みを行ってまいります。昨年、美術の森緑地内にある旧中村研一邸主屋および茶室(花庵)の2つの建造物を国の登録有形文化財に登録するよう答申されました。市内では建造物として初めての登録有形文化財になります。今後も、「あるものがさし」、「そして「あるものがさへ」」を心掛けてまいります。加えて、第14回東京商店街グランプリにおいて、けやき通り商店会の「けやき通り」が、かくれんぼ事業が優秀賞を受賞しました。スマートフォンアプリを利用し、見守り合いの必要性を知ってもらい先進的な取り組みで、市としても初期登録費用の補助を行ってまいります。また、まちのにぎわいの創出に向けた取り組みとして、多様で豊かな市民力による産

業活性化の実現をめざす産業振興プランの改訂に向け、消費者や経営者等のアンケート調査等を行います。さらに東京むさし農業協同組合の小金井ファーマーズマーケットが6月に移転オープンする予定です。都市農業をより身近に感じることができるようになることを期待しています。市民農園につきましては、ぬくみみなみ市民農園を4月に開園する予定です。学校給食における地場野菜の導入率は増加しており、食育の普及・促進のための連携も図っています。また、都市計画道路の整備を計画的に進めるとともに、無電柱化への取り組みを進めてまいります。CoCoバスのについては再編事業を実施し、運行ルートや運行ダイヤ等の具体的な内容を決定するほか、地域懇談会を予定しており、対話を大事にしながらCoCoバスの利便性向上に努めてまいります。公共下水道事業では長寿命化対策が急務となっており、新たに幹線管きよの更生工事を行うなど計画的な維持管理に努めるとともに、経営の安定化を図ってまいります。

■地域がいのちを守るまち 小金井

始めに、昼夜を問わず幅広く活動していただいている消防団員の方々と関係者の皆様に心から感謝申し上げます。「多摩直下地震」「立川断層帯地震」等、さまざまな大規模災害が発生する可能性があります。市全体の防災力の向上が求められています。引き続き、「自助」「共助」「公助」の精

神に基づき、防災関係機関との連携強化や地域住民の防災力向上に努めてまいります。福祉避難所である障害者福祉センターには災害対策用備品を配備いたします。また、特定緊急輸送道路沿道建築物や木造住宅の耐震化を促進するとともに、空き家等が地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼすことのないよう取り組みを行ってまいります。犯罪の発生や、振り込め詐欺等の被害は後を絶ちません。防犯指針に基づき、引き続き、こきんちゃんあいさつ運動や市民防犯講習会等の施策を行うとともに、円滑で効果的な防犯協力体制づくりをめざします。また、消費生活トラブルの未然防止を図るよう引き続き取り組んでまいります。成年年齢の18歳への引き下げによる若年層の消費者被害への対策として、市内中学校、高等学校で実施している消費者スクールの充実を図ります。

■湧き水と緑・桜を守るまち 小金井

本市の良い点について真っ先に挙げるのは、「みどりや水辺などの自然」です。このかけがえのない環境を失うことのないよう将来につなげていくことは、私に課せられた最も大きな役割の一つと考えており、みどりの保全、緑化の推進、都市公園の整備等を総合的に進める、緑の基本計画の改訂に向けて、みどりの実態調査を進めてまいります。また、貫井けやき公園用地の取得、三葉公園の新たな区域の追加を行います。さらに、公園等整備基本方針を策定し、効率的に公園等の向上を図ります。恵まれた水辺環境と湧き水は本市の大きな魅力の一つです。新たに地下水の水位測定を開始するとともに、地下水および湧水の保全・利用に係る計画を改訂するなど、豊かな自然環境を、将来の世代に継承していくよう取り組みます。小金井のシンボルの一つである、名勝小金井(サクラ)復活に向けて、事業を進めているところです。今後もヤマザクラ並木の再生のため植樹等を行ってまいります。

東京2020オリンピック・パラリンピックまで、残り1年半を切りました。7月には自転車ロードレース競技のテストイベントが行われ、市内を世界のトップアスリートが走り抜けます。東京2020大会の成功に向けて機運醸成の事業を展開するとともに、本市においても「オリンピック・レガシー」を残すことができるよう取り組みます。また、総合体育館および栗山公園健康運動センターの大規模修繕を計画的に進めるとともに、民間との協力による体育施設開放について取り組みを進めます。文化に関する施策につきましては、学びを通じた市民や地域、学校、団体、行政などのつながり合いや、さまざまな知識や経験、文化などの次の世代への継承などに取り組んでまいります。

3面へ続く